



助産師レター

滋賀県看護協会助産師職能委員 VOL. 20 平成 24 年 8 月

晩夏の候、皆様にはいっそうご活躍のことと思います。まだまだ、暑い日が続きますので体調管理には十分に気を付けていきましょう。

今年度も、このニュースレターで様々な情報を発信していきますので、活用していただきたいと思います。

全国助産師交流集会報告

日時：平成 24 年 6 月 7 日 会場：幕張メッセ

平成 24 年度日本看護協会活動について

◆新卒助産師研修ガイドが作成されました。

新人助産師の研修にご利用ください。

日本看護協会のホームページに掲載されています。

<http://www.nurse.or.jp>

◆「出産の場と助産師の養成及び育成に関する実態調査」があります。助産師の現状を明らかにし、改善するための重要な調査です。ご協力をお願いします。

◆助産師の地域的偏在・医療施設別偏在を是正するために、助産師出向システムを検討していくと報告がありました。

◆助産師のキャリアパス／助産師実践能力習熟段（クリニカルラダー）の検討と評価が行われます。

◆助産師の専門的な能力獲得への支援
NCPR・CTG・緊急時対応・会陰縫合、合併症妊娠・虐待のリスクへの対応などが必要と報告がありました。

☆ 滋賀県看護協会助産師職能委員会も、この方針に沿って研修会を開催していきます。

（委員長 初田聡美）

今年度の活動予定

1. 助産外来・院内助産に向けての助産師の技術・意識向上への支援活動
 - ・研修会を 2 回予定
2. 「滋賀県救急母体搬送看護提供書」改訂版作成
3. 助産師の確保・定着の推進に関する活動
 - ・高校生対象進路説明会 7 月 27 日（金）
4. 助産師に関する情報の発信
 - ・助産師レターの作成と発信 3 回/年
 - ・職能集会の開催 12 月 15 日（土）

5. 滋賀県助産師キャリアアップ応援事業
（新人助産師）研修との連携

・研修に委員から臨床アドバイザーとして参加

6. 周産期における災害時対応の情報発信



周産期における

災害対策シンポジウムのお知らせ

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災を経験されたスズキ記念病院看護部長の八木橋香津代氏をお迎えして「被災地からの提言」、日本赤十字社医療センター看護師長の仲根直子氏（助産師）からは「災害時の施設支援」、神戸市看護大学教授の高田昌代氏（助産師）から「被災地の女性や母子ケアの支援構築」について提言を受け、母子とその家族を守るための災害対策のあり方についてシンポジウムで意見交換をされる予定です。

日時：平成 24 年 10 月 27 日（土）

13：00～16：30

場所：大阪府看護協会 3 階レモンホール

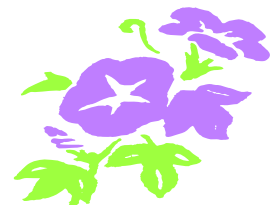
参加費：会員 1000 円・非会員 2000 円・学生無料

申し込み締め切り：平成 24 年 8 月 30 日

申し込みは、先着順とし、定員（300 名）に達し次第締め切りとなります。

別紙参加申し込み用紙にて、**滋賀県看護協会**

FAX：077-562-8998 まで、お願いします。



研修会のお知らせ

『平成24年度滋賀県看護協会助産師職能委員会 新生児蘇生法Aコース講習会』開催

日時：平成24年11月10日（土）

募集案内は、別途お知らせします。

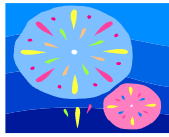
場所：大津赤十字病院

費用：未定

参加条件：滋賀県看護協会員のみ（助産師優先）

募集定員：16名（各施設1名程度）

今年度も、滋賀県で産科医療に携わる方に取得していただけるように講習会を開催します。新生児蘇生のレベルをアップしましょう。



助産師職能集会・研修会のご案内

日時：平成24年12月15日（土曜日）10時～17時

場所：滋賀県看護研修センター

費用：研修費として、会員2100円

非会員4200円・学生無料

内容：①活動報告

②「産科医療補償制度再発防止に関する報告書」
を用いたグループワーク

③研修会「産科緊急時の対応」

講師：滋賀医科大学 産婦人科准教授
喜多伸幸先生

グループワークで他の医療機関の方と情報交換をし、看護のヒントを吸収して、自施設で活用できるようにしてほしいと思います。充実した時間となるよう、ご参加をお待ちしています。

研修会では、産科医療の質の向上のために緊急時の対応を講義していただきます。自立した助産師になれるよう、知識を習得していきましょう。

平成24年度 滋賀県主催 助産師キャリアアップ応援事業

今年度の助産師キャリアアップ応援事業がスタートしました。昨年度に引き続き、助産師職能委員会からは、寺田委員が臨床アドバイザーとして事業に参加しています。

● 新人助産師研修

11施設から26名の応募がありました。うち3名は新卒者ではありませんが、今年度から分娩業務に入るといことで、研修の対象となりました。8月3日の第1回目の研修では、NCPRに準じた新生児蘇生法の演習やグループワークを行いました。

● 中堅助産師研修

5施設から6名の応募がありました。10月5日の第1回目の研修では、滋賀県における周産期医療の現状や課題、助産師の役割と責務についての講義が予定されています。その後、県内の各施設において10日間の研修を行うこととなります。

● エキスパート助産師研修

今年度から新たに開始された、自立した助産師を育成するコースになります。2施設から3名の応募があり、県外の助産院での研修を予定しています。第1回目の研修は中堅と同じです。

本年度の委員会のメンバー紹介

- 委員長：初田聡美（大津市民病院） 前列中央
委員：中村美由紀（野洲病院） 前列右
委員：野浪裕子（大津赤十字病院） 前列左
委員：谷川摩里子（近江八幡市立総合医療センター） 後列右端
委員：梅本範子（市立長浜病院） 後列中央右
委員：岡山久代（滋賀医科大学医学部看護学科） 後列中央左
委員：寺田光枝（草津総合病院） 後列左端
理事：大槻知子（滋賀県看護協会第3副会長）



新しいメンバーを迎え、新たな気持ちで活動していきますので、ご協力をお願いいたします。

